



前商同窓会報

令和7(2025)年3月1日 第3号

発行責任者/糸井 義一

編集責任者/高梨 春雄

題字/糸井 義一同窓会長



強豪チームが集まる「プリンスリーグ関東2部」に公立高校で唯一参戦

目次

あいさつ	2	第19回 ゴルフ大会の開催	4
令和6年度 同窓会総会	3	OB・OGの活躍	5
令和6年度 同窓会行事	3	学校状況報告	6~7
同窓会 懇親会	4	支部活動報告	8
次年度代表幹事メッセージ	4	編集後記	8

発行にあたり



同窓会長

糸井 義一

(昭和44年度卒)

会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。同窓会報も第三号を発行することとなりました。日頃から皆様には同窓会活動に対し、ご支援を賜り、心から敬意と感謝申し上げます。

さて、同窓会活動の活性化について申し述べさせていただきます。

本会は、役員を中心とした組織ですが、その中でも最大限、後輩に残せる事業は、2020年の学校創立100周年を機に、いくつかの事業を推進してまいりました。

それは、前商同窓会名簿の再発行、同窓会報の発行、総会及び懇親会の活性化、ゴルフ大会の充実強化、女性同窓生の活性化、首都圏・利根沼田・渋川・前東商支部の活性化等、役員には実効のあがる努力を頂いております。

その結果、お陰様で各事業とも徐々ではありますが顕著な成果となっています。また、同窓会総会及び懇親会においては、それぞれの幹事が趣向を凝らして対応するなど、一生に一度の幹事の皆様方の個性あふれる取り組みに感謝しております。

次に在学生の活躍振りであります。入学及び卒業式、そして各種大会の激励等で母校を訪れる折に、文武両道、目指せ日本一を掲げそれぞれの目標に向かって挑戦しつづけている後輩たちの元気な姿に接するたびに感激と感動を頂いております。

運動部や文化部で強くなることも極めて大事なことですが、最も大事なはその努力の過程において人として何を学ぶかであり、強さだけでなく心、精神力の錬磨であると思います。ゴミが落ちていれば自然と手が伸びて拾う。部室が整理整頓されていなければ率先して清掃する、先輩を敬い、両親を大切に、そして何より素直な心と挨拶がしっかりできるそんな人間に成長していただきたいと思っております。

結びに令和7年度の主要行事である同窓会総会及び懇親会、同窓会ゴルフ大会など開催致します。多くの同窓生諸兄のご参加をお願い申し上げますとともに、同窓生皆様をはじめ母校のますますのご隆盛を祈りごあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ



学校長

田島 正徳

同窓会の皆様には、日頃より母校である群馬県立前橋商業高等学校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

同窓会報第3号刊行にあたり、本校の近況を報告させていただきます。今年度も、開校104年目の記念式典を通常通り挙行することができました。

新規事業として「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」に本校が採択されました。DX推進委員会を立ち上げ、本校に即した内容を検討しております。2学期には、生徒主体で、スポーツ行事「前商杯」を開催し、心を一つにして盛り上がりました。

部活動も、昨年度に続き活躍しました。県商業競技大会では、情報処理、珠算・電卓での優勝をはじめ、総合15連覇を達成。全国でも珠算個人部門で4位入賞と活躍しました。

運動部は、昨年度に続き、県総体男子で2年連続16度目の総合優勝を達成しました。優勝種目は柔道、水球の2種目だけでしたが、他の部が上位入賞し、まさ

に前商の総合力を結集しての優勝となりました。続くインターハイには、柔道、弓道、水球、ソフトテニスが出場し、北部九州で躍動しました。佐賀国スポでは水球部が13年ぶりに3位と全国入賞。サッカー部は県内初の試みとして、ユニフォームにスポンサー広告を付けて、関東プリンスリーグに参戦しております。硬式野球は春季大会準優勝し関東大会出場、夏季大会も準優勝と力を発揮しましたが、共に、決勝では健大高崎に敗れており、来年度はこの悔しさを晴らしてくれると信じております。他の活躍も多数ありますが、現状に満足せず、今後も文武両道を目指してまいります。後輩たちの活躍にご注目いただければ幸いです。

結びに、「至誠一貫」「燃えよ前商生 目指せ日本一」を目標に、今後も生徒・職員一丸となり、地域に信頼される学校づくりに邁進いたします。同窓会の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解、ご支援をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

令和6年度 同窓会総会

日時：令和6年7月6日(土) 16時30分～
場所：マック・スクエア スワン 2階「ローズ」

- 1 開会の言葉
副会長 西川 定男
- 2 校歌斉唱
- 3 挨拶
会長 糸井 義一
校長 田島 正徳
- 4 議事
第1号議案 令和5年度 同窓会事業報告 事務局
第2号議案 令和5年度 同窓会会計決算報告 事務局長
監査報告 小屋 知弘 (監事)
第3号議案 令和6年度 同窓会事業計画 事務局
第4号議案 令和6年度 同窓会会計予算 事務局長
- 5 その他
- 6 幹事紹介
令和6年度担当 代表幹事 森 英也 (昭和56年度卒)
令和7年度担当 代表幹事 齋藤 秀博 (昭和57年度卒)
- 7 閉会の言葉
副会長 村沢 博行



令和6年度 同窓会行事

- | | | | | | |
|------|----------|--|-----------|-----------------------------|------------------------|
| 令和6年 | 4月5日(金) | 職員歓送迎会(群馬ロイヤルホテル) | 7月6日(土) | 同窓会総会・懇親会
(マック・スクエア スワン) | |
| | 4月9日(火) | 入学式 | 7月20日(土) | 首都圏支部総会(アルカディア市ヶ谷) | |
| | 4月26日(金) | 開校記念式典 (前商第1体育館)
記念講演会
講演 人間国宝 講談師
神田 松鯉 様 (昭和36年度卒)
演題 「講談人生」 | 9月1日(日) | 前東商支部総会
(マック・スクエア スワン) | |
| | 5月11日(土) | 同窓会本部役員と幹事学年の打合せ
(前商会議室) | 10月20日(日) | ゴルフ大会
(赤城国際カントリー) | |
| | 6月6日(木) | 第1回同窓会本部役員会(前商会議室) | 令和7年 | 1月9日(木) | 第2回同窓会本部役員会
(前商会議室) |
| | 6月15日(土) | 利根沼田支部総会(焼肉酒楽 Jyu Jyu) | | 1月30日(木) | 生徒研究発表会 (前商第1体育館) |
| | 6月22日(土) | 渋川支部総会 (ホワイトパーク) | | 2月28日(金) | 褒賞授与式・同窓会入会式 |
| | | | | 3月3日(月) | 卒業式 同窓会報第3号発行 |



同窓会 懇親会

日時：令和6年7月6日(土) 17時30分～
場所：マック・スクエア スワン2階「サクラ」

- | | |
|--|---|
| <p>1 開会の言葉</p> <p>2 校歌斉唱</p> <p>3 挨拶
代表幹事 森 英也（昭和56年度卒）
同窓会長 糸井 義一
校長 田島 正徳</p> <p>4 来賓紹介</p> <p>5 表彰及び受章者（敬称略）
瑞宝小綬章 松本 邦夫
旭日双光章 坂本 清
瑞宝単光章 石田 良秀</p> <p>6 ゴルフ大会について（ご案内）
実行委員長 今成 信司</p> | <p>7 乾 杯
副会長 宮崎 彰</p> <p>8 歓談及び余興</p> <p>9 閉会の言葉
次年度幹事 齋藤 秀博（昭和57年度卒）</p> |
|--|---|



次年度代表幹事メッセージ



次年度代表幹事

齋藤 秀博

（昭和57年度卒）

昨年の夏、令和7年度と同窓会懇親会における代表幹事の打診があった際には、相当の戸惑いがあったものの、活動を共にする学年幹事や幹事協力者にも恵まれたことで、引受をさせていただきました。

代表幹事の立場で会議を重ねる中、多方面からの意見を調整しまとめる事の難しさを経験させていただきました。

結びとなりますが、学年幹事においては、たくさんの同窓会会員の皆様にお越し頂けるように昨年より同窓会本部役員、事務局の皆様とも連携させていただき、また先輩幹事学年の方からも助言を賜りながら活動しております。

年1回の同窓生同士の懇親の場として、是非多くの皆様にご参加頂けるように心よりお願い申し上げます。僭越ながらご挨拶とさせていただきます。

令和7年度総会・懇親会日程 令和7年7月5日(土) マック・スクエア スワン（前橋商工会議所）

第19回 ゴルフ大会の開催

- 開催日 令和6年10月20日（日）
場所 赤城国際カントリークラブ
参加者 111名（シニア56名、一般47名、女性8名）
優勝者 シニア 喜楽 英夫さん（昭和36年度卒）
一般 松本 健一さん（平成元年度卒）
レディス 飯野有香里さん（昭和56年度卒）
協賛者 41の企業、団体、個人
実行委員長 今成信司（昭和53年度卒）



秋空の赤城国際カントリークラブ



参加者のティーショット

秋空のもと、糸井同窓会長ら111人が参加し、同窓生同士の親睦が深められました。

また、41の企業、団体、個人から、たくさんの賞品の協賛をいただきました。※来年度は20回大会になりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



表彰式会場



表彰式・糸井会長挨拶

第20回ゴルフ大会日程 令和7年9月28日（日）赤城国際カントリークラブ

OB・OGの活躍



森 英也

(昭和56年度卒)
全日本柔道連盟元ライセンス審判員

柔道人生の基盤は前商柔道部で

私の前商生活の中心は、柔道部の活動でしたが、高校時代の実績はインターハイや国体などの全国大会に出場する程度でした。大学卒業後に、群馬県の高校の体育教員となり、前橋東高校では、選手強化に没頭し、全国大会や関東大会で上位入賞する選手を育成することができました。なかでも横澤由貴さんは、全国高校選手権で優勝し、後にアテネオリンピックで銀メダリストとなりました。国際大会に一度も出場したことがない私が、教え子の出場するオリンピックを現地で観戦することができ、まさに「出藍の誉れ」でした。母校の前商からもぜひオリンピック選手を輩出してもらいたいと

願っています。48歳の時に国内最上位のSライセンス審判員となり、それ以降60歳までの間、ほとんどの全国大会で決勝審判員を務めました。特に、すり鉢状の日本武道館でピンマイクをつけて行う全日本選手権やオリンピック最終選考会の審判は、緊張と集中の極限でした。

前商で過ごした3年間で礎となり、充実した柔道人生になっていると感じています。



全日本柔道選手権で審判



小林 和公

(昭和60年度卒)
NPB公式審判員

NPB 2000試合達成

皆さん初めまして。小林和公と申します。1985年に前橋商業を卒業しました。大学4年時にヤクルトスワローズに投手として指名され入団。引退後、アメリカにあるフロリダプリンクマン審判学校へ入学して勉強。帰国後、プロ野球の審判として採用されました。

昨年8月、2000試合を達成し年末に前商OB会にて祝賀会をして頂き大変感謝しております。

これまで小学校から現在まで野球に携わってこれたのは純粋に野球が大好きなのと高校時代の東野監督の指導や教育があったからこそだと思っています。

苦しい時こそ歯をくいしばり、二流より

一流、一流より超一流を目指せという言葉が今でも心に残っています。超一流にはなれていませんが笑

毎試合五万人の大観衆の中、緊張感を持ってやれる仕事は他には味わえません。大変でもあり、辛い思いもたくさんありますがこれからもプロ野球発展の為に謙虚にブレずに頑張っていきたいと思っています。

皆さんこれからもプロ野球を応援してください。



NPBのDeNA対広島



井上 温大

(令和2年度卒)
読売ジャイアンツ所属

WBCプレミア12に出場

こんにちは、今年はリーグ優勝して、プレミア12にも出場できました。いつかは代表になれたらとずっと思っていたので、世代ごとではありますが、人生初の代表に選ばれたので嬉しかったです。

プレミア12では、3試合投げさせてもらった経験はもちろんですが、一流選手と交流することができ、練習方法や食事など貴重なアドバイスを頂けたことが大きな収穫になりました。

今年活躍できたのは、球種を増やせたこと、バッターを研究して投げられたこと、先発のローテーションの調整が確立できたこと、そしてランナーが出て抑えられる自信がついたことです。

来年の目標は、規定投球回数を投げ、二桁勝利をすることです。注目してほしいところは“投げっぷり”とベンチに走っても戻るところです(若々しさですかね)。

地元前橋での試合では、たくさんの方々の応援を頂き最高のピッチングができました。前商野球部時代からずっと応援を頂きありがとうございます。来年は、今年以上の成績を収め、皆様に喜んでいただけるように日々精進していきます。引き続き応援をよろしくお願いします。



前橋市での記者会見

支部活動報告

首都圏支部

支部長兼副会長 宮崎 彰
(昭和48年度卒)



私たち首都圏支部では、恒例の支部総会および懇親会を2024年7月6日(土曜日)アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催いたしました。この日は、糸井義一同窓会長、田島正徳新校長等の参加を頂き、参加者78名が1年ぶりの再会を喜び、校歌を歌い、母校や同窓生の変化を確認し合い、会場の各所で和やかな懇談の輪が多く作られる集いとなりました。

総会の中では母校生徒の活躍や卒業OB

の球界等での活躍などが紹介され、また、懇親会ではこの1年の同窓の公私にわたる諸活動(甲子園に向かう前商球児“壮行会”の様子や仕事・趣味等)をパワーポイントや自作作品を紹介するなどして7名の方が明るく発表されました。

首都圏支部では、これからも身近な同窓の友に声を掛け合い、首都圏や周辺県に住む多くの同窓に参加していただく運動をして参ります。2025年の総会・懇親会は7月12日(土曜日)同会場にて開催いたします。参加者全員が楽しく集える集いですので奮ってご参加ください。



利根沼田支部

支部長兼副会長 村沢 博行
(昭和47年度卒)



当支部は来年度第40回目となる総会を開催いたします。この節目の40回を期して多くの同窓生に声掛けを行い総会への参加を求めると、支部に対する再認識や更なる連帯と親睦を図り、もって支部の活性化と発展を図りたいと考えております。当支部同窓生

の皆様、令和7年4月～5月頃声掛けをいたしますので是非参加下さいませようお願いいたします。



前東商支部

支部長兼副会長 星野 嘉六
(昭和41年度卒)



令和6年9月1日に8年ぶりの支部総会を開催しました。それも尺八と津軽三味線のコラボ演奏付きだったので大変盛り上がりました。コンサートが終わると事業報告と会計報告を速やかに済ませ、共に青春を過ごした仲間や懐かしい恩師と時の経つのも忘れて昔話に花を咲かせました。

200人近い参加者の90%が女性なので賑やかで華やかで楽しかったのだが役員の高齢化を考えるといつまで支部活動を続けられるかが心配の種です。

終わりに糸井同窓会長、田島学校長、長岡事務長にご臨席賜った事に感謝し報告とします。

渋川支部

支部長兼副会長 狩野 一郎
(昭和49年度卒)



平成25年に渋川支部が設立され、毎年6月第4土曜日に支部総会を開催しております。同窓会長、前商校関係者を来賓としてお迎えし、本校の近況報告、学生の活躍等を聞き前商卒業生で良かったと胸を張れる思いです。懇親会で40名ほどの先輩、後輩が親睦を図り、毎年会うのを楽しみに

しております。支部では、数回の役員会議を行い、年に一度の報告会、ゴルフコンペ等行い団結力を築き、本校同窓会の運営に支部として微力ながら協力していければと感じています。近年では参加者年齢も上がっており、30代、40代の卒業生に参加を呼び掛けています。

同窓会報編集委員



左から 小屋監事・富田副会長・糸井会長・高梨副会長 齋田事務局員・梅山副会長

編集後記

母に弁当を二つ作って貰い剣道の朝練へ向かう。1時間ほどの稽古を終えると、部室にある先輩の授業予定を見ながら教科書をそらえて渡し、急いで自分の教室へ向かう。

1時限目が始まる前に一つ目の弁当をたいたら、1時限目が終わると二つ目の弁当も食べてしまった。屋には前商会館一階に出店している「今井パン」で1つ2つパン頬張り、空腹をしのご。

放課後、急いで道場へ向かい、無我夢中で稽古に打ち込む。帰路につくも、北門前の「松井の焼きそば屋」の匂いに誘われ大盛りをぺろり。

自転車を北方へ向けて漕ぎ出すも、おでんの匂いに誘われて、通称「ババア家」でゆで卵に酢醤油をたらし、さつま揚げにからしを付けて、瓶のチェリオで流し込む。

懐かしい40数年前の思い出である。今は、残念なことに「松井の焼きそば屋」と「ババア家」は閉店してしまった。

前商で得た「食・身体・縁・心」が今の自分の土台となっていることに違いない。

そして今、同窓会報の編集に携わらせていただくことで、更に「縁」が深まっていることに感謝している。

(記 編集委員 昭和55年度卒 梅山晋太郎)